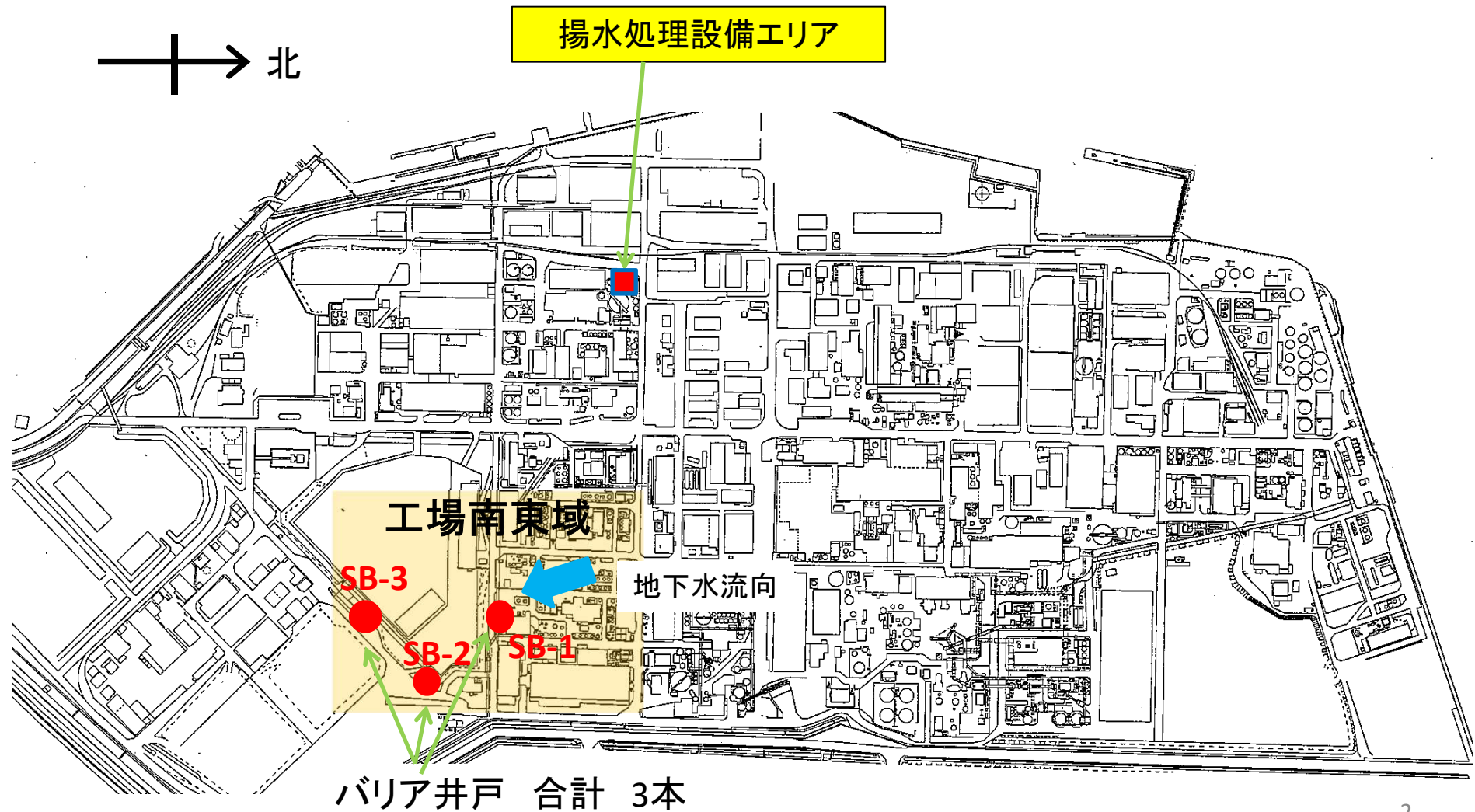


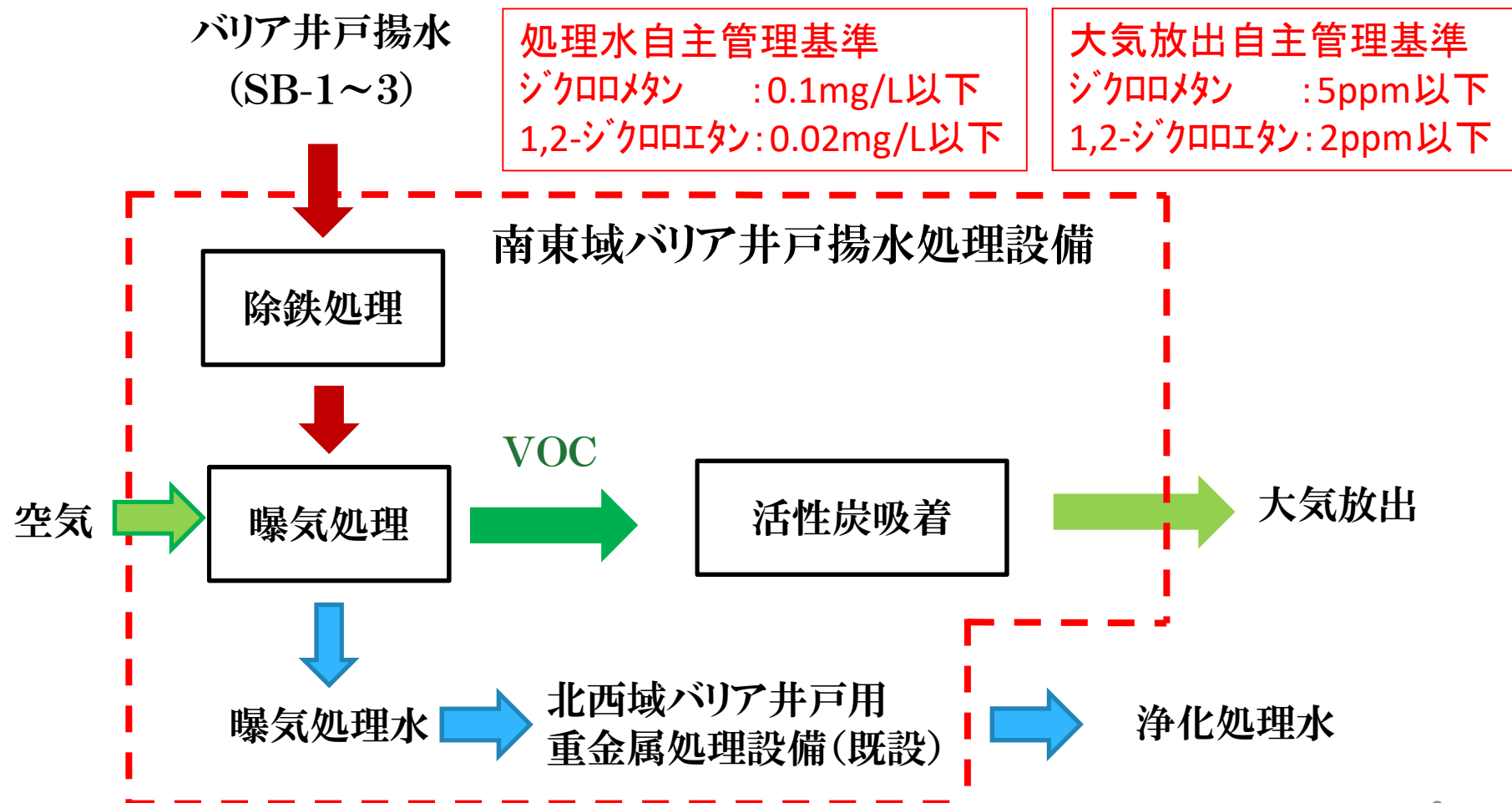
南東域ノバリア井戸運転実績

2019年 12月 23日
環境専門委員会

南東域バリア井戸関係設備配置



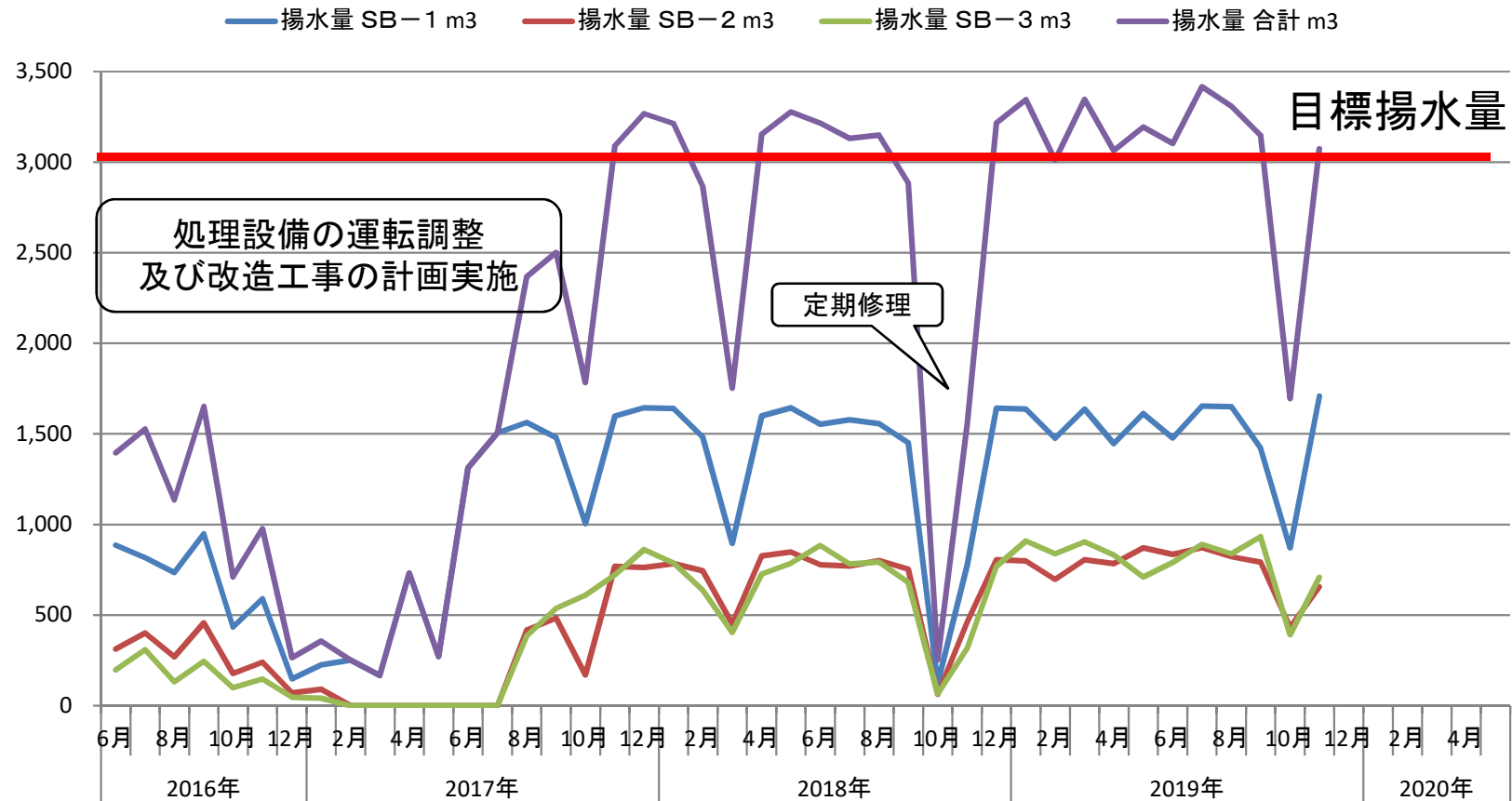
南東域バリア井戸揚水処理設備フロー



南東域バリア井戸揚水処理設備運転実績

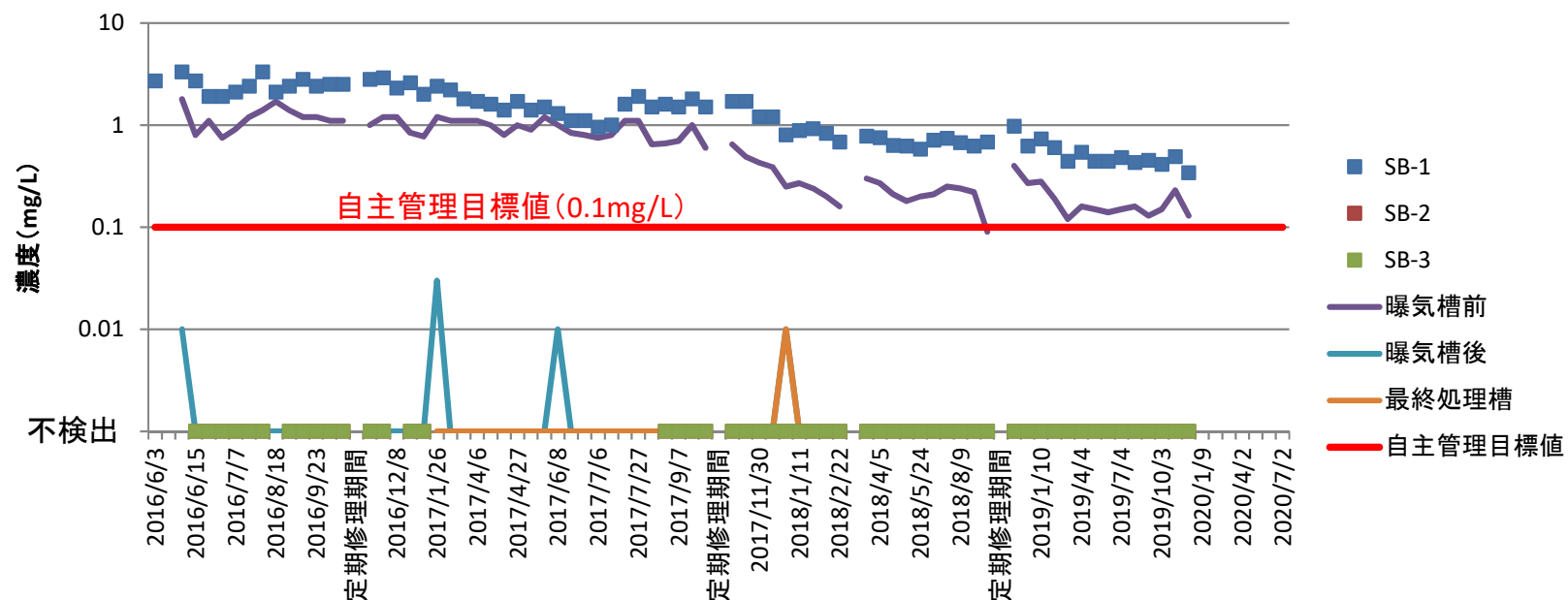
目標揚水量 SB-1=50m³/日 SB-2,3=25m³/日

南東域バリア井戸揚水状況



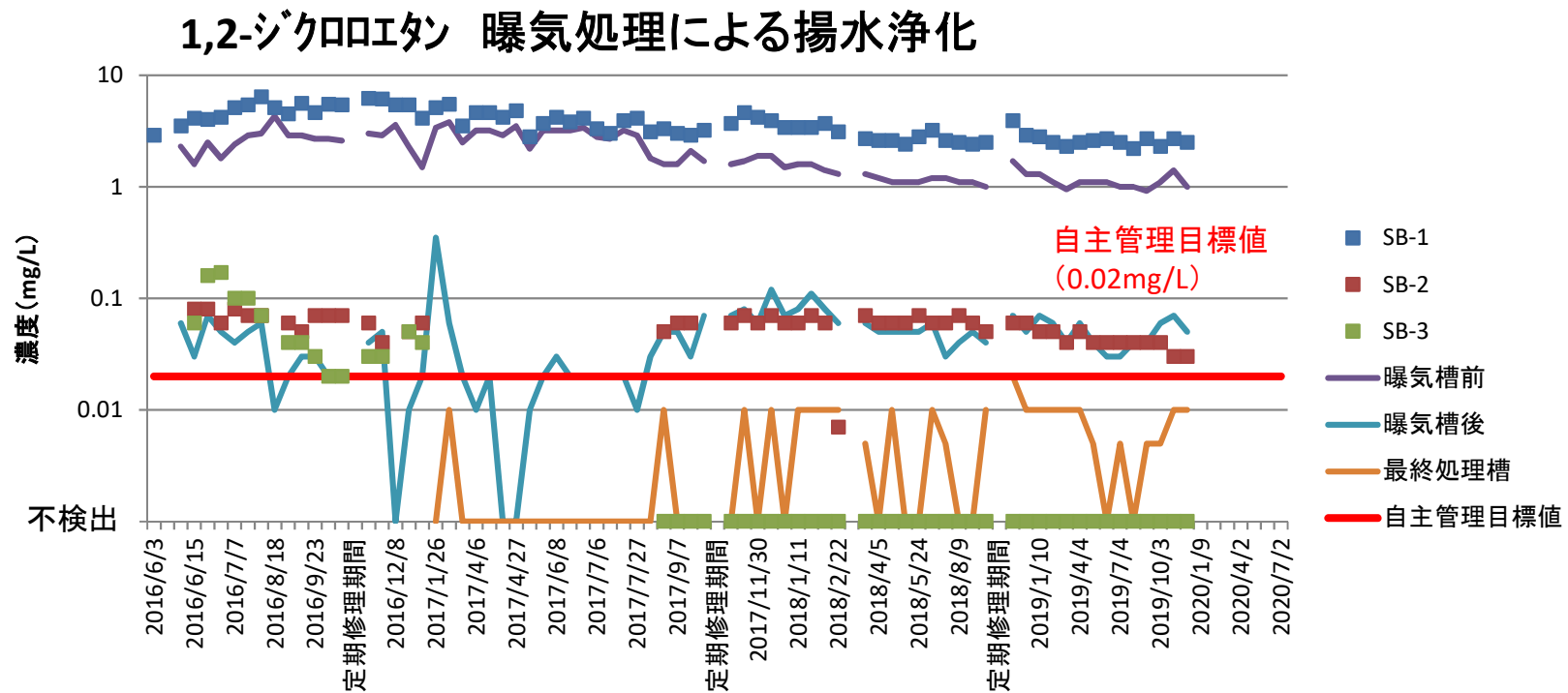
南東域バリア井戸揚水処理設備運転実績

ジクロロメタン曝気処理による揚水浄化



曝気処理によるジクロロメタンの濃度変化を図示した。SB-1の揚水は、最近では1 mg/L以下となっている。SB-2,3の揚水は不検出となっている。曝気槽前では当初1mg/L程度であったが、SB-1～3での連続揚水により最近では0.2mg/L程度まで低下している。曝気後以降では殆どのデータが「不検出」(グラフ上では0.001mg/Lで図示)で、自主管理目標値(0.1mg/L)を十分にクリアしている。

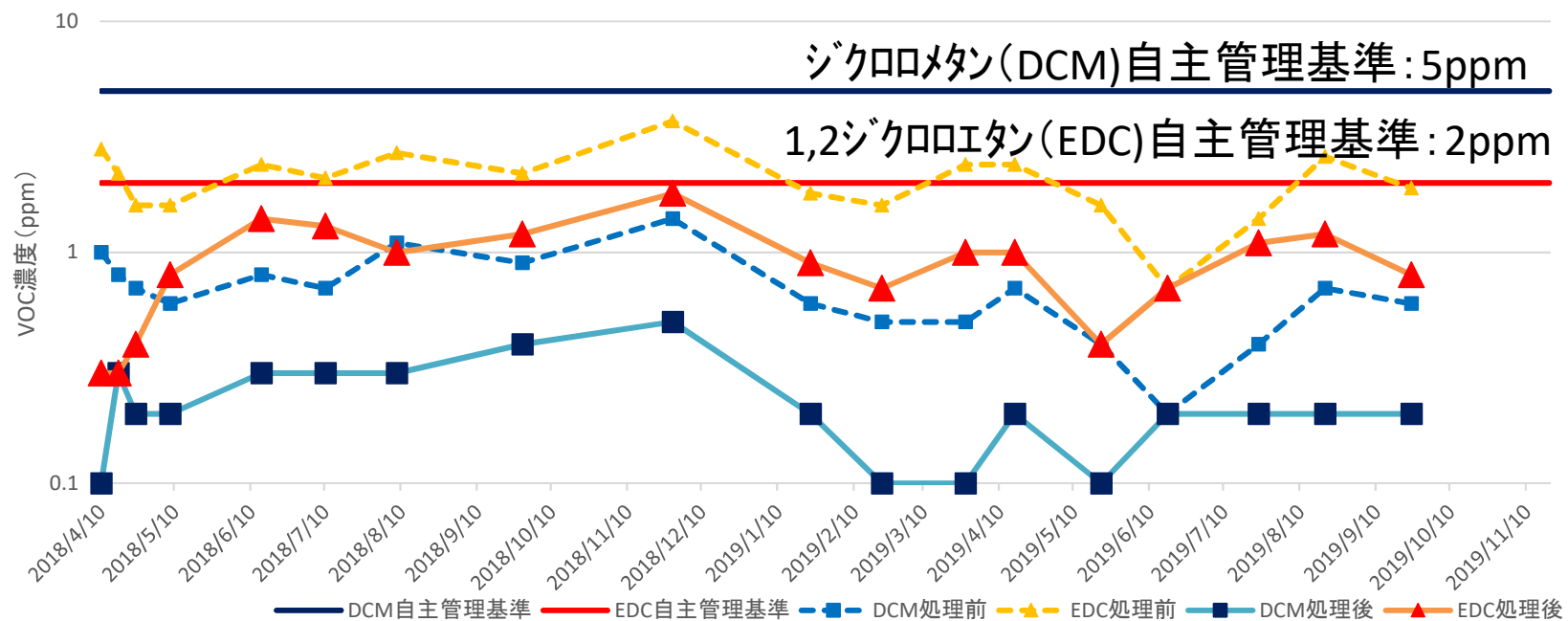
南東域バリア井戸揚水処理設備運転実績



曝気処理による1,2-ジクロロエタンの濃度変化を図示した。揚水中の濃度は、SB-1で2～3mg/Lで推移しており、SB-3では「不検出」を継続している。曝気槽前では、ほぼ1mg/L程度で推移し、曝気後では、0.05mg/L程度となっている。但し、最終処理槽においては、自主管理目標値0.02mg/L以下を継続している。

南東域バリア井戸揚水処理設備運転実績

曝気ガス浄化(活性炭吸着)処理状況



曝気処理によるVOCガスを含む排気については、VOC成分を活性炭で吸着除去し、大気放出している。VOCガスそれぞれの排出自主管理基準(ジクロロメタン: 5ppm、1,2ジクロロエタン: 2ppm)をクリアしている。